

管機連Daily News

2025年12月9日(火)

≪ 今日の主なニュース ≫

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆11月街頭景気、先行き指標7カ月ぶりに低下 日中関係など懸念

・内閣府が発表した11月の景気ウォッチャー調査(街角景気)は、2~3カ月後の景気を聞いた先行き判断指標(DI、季節調整値)が2.8ポイント低下の50.3となった。7カ月ぶりに悪化した。日中関係の悪化や不動産価格の上昇などを懸念する声が聞かれた。先行き判断指標を構成する家計、企業、雇用の3項目がいずれも低下した。

◆10月実質賃金0.7%減、10カ月連続マイナス 物価になお追いつかず

・厚生労働省が発表した10月の毎月勤労統計調査(速報、従業員5人以上)によると、物価変動の影響を除いた実質賃金は前年同月比で0.7%減。名目の賃金は伸びているものの物価上昇には届かず、25年1月以来10カ月連続のマイナス。名目賃金を示す1人あたりの現金給与総額は30万141円と2.6%増えた。

◆10月の経常黒字、15.5%増の2兆8335億円 投資収益が拡大

・財務省が発表した10月の国際収支統計(速報)によると、海外とのモノやサービスなどの取引状況を示す経常収支は2兆8335億円の黒字。黒字幅は前年同月から15.5%増加し、10月単月では過去最大。外国との投資のやり取りを表す第1次所得収支の黒字幅が拡大。貿易収支は983億円の黒字(前年同月は1527億円の赤字)。

≪ 業界ニュース ≫

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆パナソニックHDが野球部を休部 2026年度、構造改革の一環

・パナソニックホールディングスは傘下の野球部を2026年度のシーズン終了後に休部すると発表。同部は社会人野球日本選手権で2回優勝するなど強豪チームとして知られていたが、近年は成績が低迷していた。野球の応援を通じて会社の一体感を醸成するという役割を十分に果たせないと判断。

◆メガソーラー開発規制強化へ7法令見直し 発電設備に事前確認制度

・大規模太陽光発電所(メガソーラー)の建設を巡り、政府は工事前に第三者機関が発電設備の安全性に問題がないか確認する制度を導入する。7つの法令で改正や運用の見直しをし、周辺地域への悪影響の抑制を目指す。メガソーラーを巡っては北海道など全国各地で自然破壊や災害リスクにつながる開発への懸念が強まっている。

◆国交省「職人いきいき宣言」12日から申請受付 処遇改善企業を公表

・国土交通省は建設技能者の処遇改善に取り組む企業を認定・公表する新制度「建設技能者を大切にする企業の自主宣言」(愛称:職人いきいき宣言)の申請受付を開始。事業者が自社の取り組みを対外的に宣言することで適切に評価され、受注機会が確保されることなどを目的に実施。認定された企業は特設サイトで「宣言企業」として公表される。

≪ 注目商品 ≫

■パナソニック アラウーノにオート開閉標準搭載で25.9万円

・全自動おそうじトイレ「アラウーノ S160 タイプ1K」は、便ふたの「オート開閉機能」を標準搭載。一般的なオート開閉機能付きのタンクレストイレよりオート開閉なしと同価格の25万9000円で設定。従来のタンクレストイレよりも約10万円安い設定。



■HiKOKI、片手で切断できるコードレスカッタ

・電動工具ブランド・HiKOKI(ハイコーキ)から、コードレスカッタ「CE 18DYMA(Mバーカッタ)」「CE 18DYCA(Cチャンネルカッタ)」を発売。軽量コンパクトで操作荷重が軽く、片手操作で部材を押さえながら切断できる。切断時間は約4秒以下。



■カナエテ、シンプルなコンパクトキッチン

・「ピッコロプラス」は、シンプルなフォルムのコンパクトキッチン。天板には高耐久のメラミン化粧板を採用。家具のように空間に調和し、セカンドキッチンや小規模空間にも最適。カラーは、ホワイトとブラックの2色。

